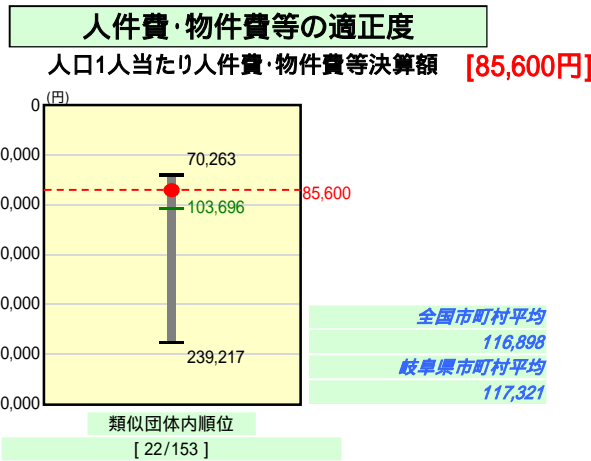
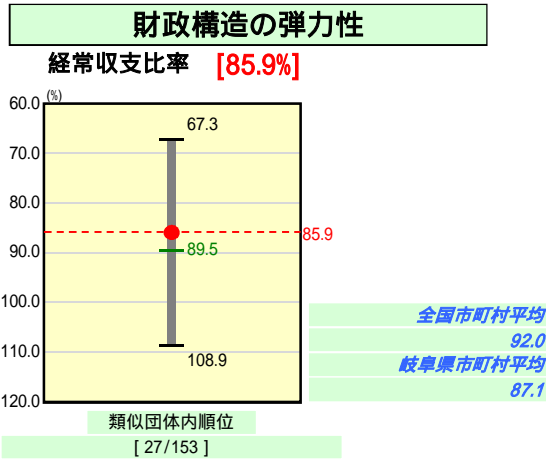
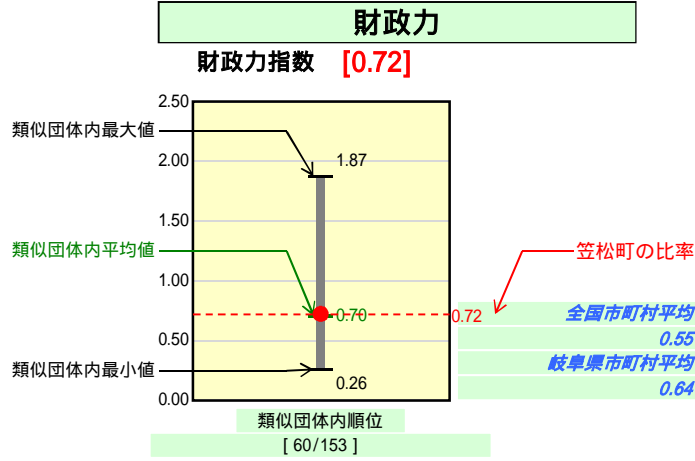


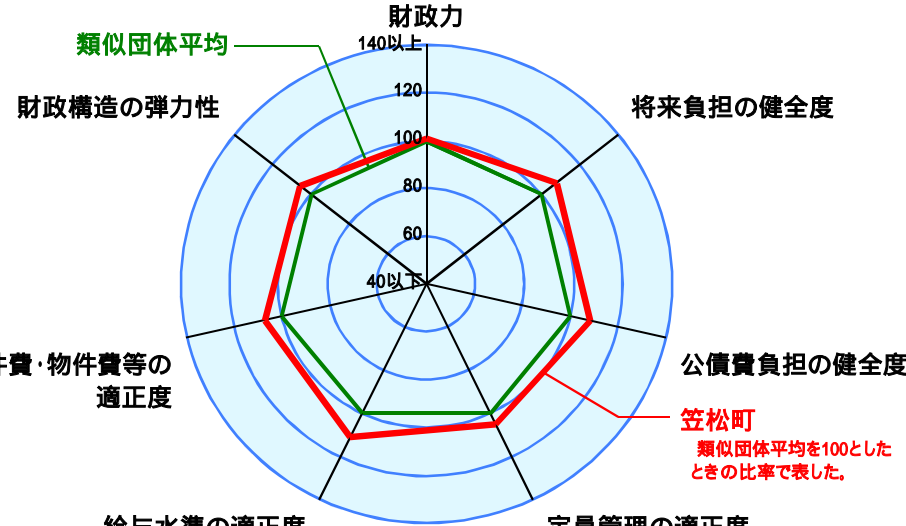
# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 岐阜県 笠松町

人口	22,025 人(H20.3.31現在)
面積	10.36 km <sup>2</sup>
歳入総額	5,933,716 千円
歳出総額	5,580,398 千円

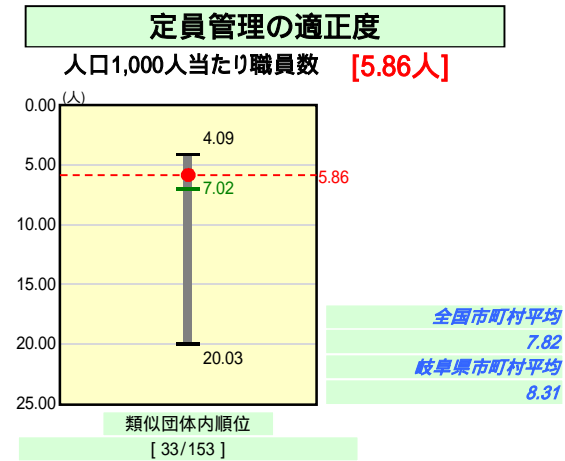
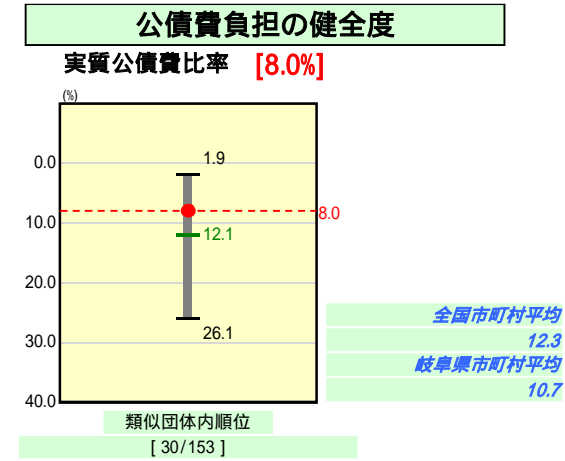
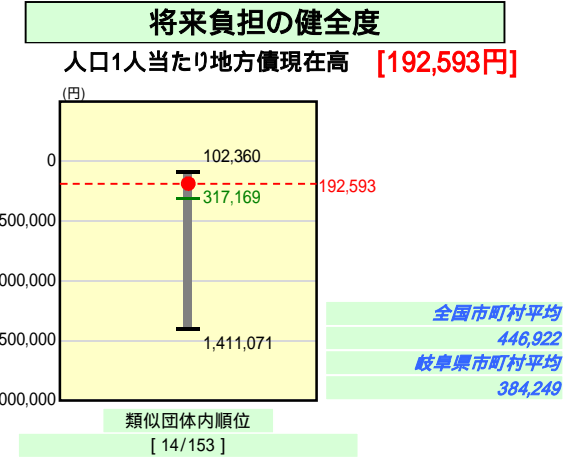
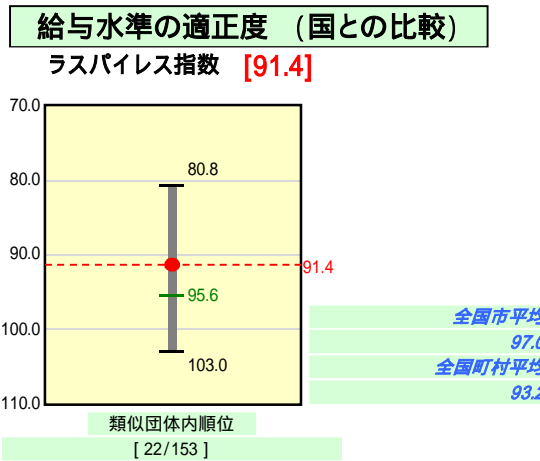


人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



### 給与水準の適正度 (国との比較)

類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



### 分析欄

#### 財政力指数

類似団体平均値を若干上回っている結果となっているが、町税の増収は見込めないことから、徴収率の向上を図り、更なる財政基盤の強化に努める。

#### 経常収支比率

平成17年度より3年間実施してきた行財政改革推進プランに基づき、人件費や物件費等の抑制を進めており、類似団体平均値を下回っているものの、今後も扶助費や公債費の増加が続くことが見込まれるため、引き続き経常経費の削減を図る。

#### 人口1人当たり人件費・物件費等決算額

類似団体平均値を下回っており、今後も行財政改革推進プランの考え方に基づき、人件費の抑制や既存施設の維持管理費に係る経費の抑制に取り組む。

#### ラスパイレス指数

行財政改革推進プランによる職員給与の抑制措置などにより、類似団体平均値を下回っており、今後もより一層の給与の適正化に努める。

#### 人口1人当たりの地方債現在高

過去からの起債の抑制策により、類似団体平均より下回っている。今後、臨時財政対策債や小学校耐震補強事業等による新規の地方債発行も見込まれるため、新規発行と返済のバランスを考慮し、一層の財政健全化を図る。

#### 実質公債費比率

過去からの起債抑制策により、類似団体平均より下回っているが、一般会計繰出金では下水道事業分の公債償還分が増加している。今後とも、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

#### 人口1000人当たりの職員数

新規採用を抑制してきたことにより、類似団体平均値を下回っている。平成17年度から平成22年度までの間に2.2人の定員削減を目標に、今後も定員適正化計画に基づき、適切な定員管理に努める。